



# 結小だより

★自分で学ぶ子  
★仲よく助け合う子  
★自分でできたえる子



## 学習の秋！体験を通して学びを深めます。



「学習の秋」と言われます。様々な体験から教科書だけでは学べない多くのことを学んでいます。

前期は、新型コロナウイルス感染拡大のために、宿泊研修や校外学習に出かけたりすることができませんでした。現在は新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せていますので、延期していた行事などを行いつつ、子どもたちの学びを充実させています。

11月25日・26日には、5年生が滋賀県彦根市にある「荒神山自然の家」で、宿泊を伴う研修を行いました。学年スローガン「仕事を進んで行き、みんなが楽しめる荒神山研修にしよう」に向けて、事前から「時間を守っての3分前行動、仲間を思いやるふわふわ行動、仲間に応える呼応の姿」の取組を行い、研修に臨みました。2日間の研修では、班の仲間と声を掛け合って山の中を歩く「荒神山ウォークラリー」に取り組んだり、キャンドルの明かりの下で自分達の絆を確かめ合う「キャンドルセレモニー」を行ったりしました。また、宿泊するからこそできた友達との宿泊施設での語りなど、多くの思い出をつくと共に、気付かなかった仲間のよさを大発見したりしました。家族と離れて宿泊することが初めての子も半分ほどいました。「自分で起きる」「自分で身支度する」など当然のことのように行っている毎日の生活が自立に向けての第1歩である事にも気付くことができ、家族のありがたみを感じた子もいます。2日間の宿泊研修に向けて行ってきた学年での重点取組により、研修先でも時刻を意識して、スムーズに団体行動ができ、学年の団結力をさらに強め、絆がより太くなりました。5年生は、残り4ヶ月で最高学年です。今回の研修で学んだことをさらに今後の学校生活の中で発揮してくれることを期待しています。

他の学年でも今後、生活科、社会科など教科書で学習したことを、自分の目で見たり、自分で体験したりしていきます。今後予定しているのは、以下の校外学習です。

学年	日時	見学や学習
1年生	12月7日	「みんなで使う施設を使おう」：アンヒルパーク (バナナ栽培農家の見学)
2年生	12月8日	「公共の乗り物に乗って出かけよう」：電車に乗って岐阜市科学館
3年生	12月3日 1月予定	「ふるさと学習」：結神社・町屋観音堂 「みんなの暮らしを守る仕事」：消防署の見学
4年生	12月2日	【岐阜県の『ふるさと魅力体験事業』として実施】 岐阜県の伝統工芸、紙すき体験をしよう：美濃市美濃和紙の里会館
6年生	12月2日・ 3日	日本の歴史を学ぼう：京都・奈良で日本の歴史にふれよう 金閣寺・清水寺・二条城・大仏殿・興福寺国宝館・法隆寺

社会見学としては実施しませんが、校外学習として、町のバスを使用させていただいたり、公共交通機関を利用したりして、校内だけでは学べない学習体験を行っていく予定です。弁当の必要な学年もありますので、お手数ですがご協力をお願いします。(詳細は、各学年通信をご覧ください)



## ＜しめくくりの12月＞



いよいよ第4ステップのしめくくりに入ります。カレンダーも残すは、この1ヶ月です。別名、師走と言われる12月は、慌ただしく走り抜けるように時が過ぎてしまいがちです。しかし、学校生活の中では、冬休み前に生活や学習の総点検をし、今まで付けてきた力を明らかにして、自信をもって新しい年を新たな気持ちで迎えるためのまとめの時期です。そのためには、家庭との連携は欠かせません。今月初めの週には、漢字・計算のまとめのテストで付けた力を確かめます。そして、合格できるまで学習に粘り強く取り組む中で、あきらめない強い気持ちを育て、やり遂げた充実感を実感できるようにしていきます。基礎・基本の習得には、毎日の生活や学習の積み上げが何より大切です。子どもたちも、まとめのテストに向けて学習に力を入れます。ご家庭でも、夕飯の前に集中して学習を済ませたり、約束を守ってテレビ見たりゲームを行ったりするなど、自分で自分の生活をつくり上げ、自立できるような生活習慣の形成に向けて、励ましや見届けをお願いします。**子どもたちの学習習慣の形成は、小学校の時期が大変重要な**ことは、皆様のご存じの通りです。ぜひとも、「**早寝・早起き・朝ご飯**」の家庭生活の充実をお願いします。



縦割り遊びの様子

### ＜お願い＞ 悩みがあればいつでも相談できます。

結小学校では、人権週間の取組を行い、学校内でも、仲間のよさを見付けたり、仲間に温かな気持ちで接したりすることを大切にしたい「ふわふわ言葉」の取組を年間継続して行っています。特に、11月は、12月1日行う「人権 ひびきあい集会」に向けて、仲間が温かくなるような言葉をかけたり、行動をしたりする「ふわふわシャボン玉キャンペーン」を行いました。各教室前に張られた用紙には、たくさんのふわふわシャボン玉にのせて、あたたかな子どもたちのすてきな思いが語られています。仲間を大切にできる結小学校の子どもたちがたくさんいてくれてたいへんうれしく思います。しかし、まだまだ未熟な子どもたちは、自分中心にしか物事が考えられない場合があり、自分の怒りにまかせて暴言を吐いたり、時に物にあたったりすることがあります。そんなときには、必ず、学校でも話をよく聞き、子どもと一緒に考えて、解決できるようにしています。今までの学校だよりでも何度かお伝えしていますが、特に最近の子どもたちの傾向として、登下校でのトラブルが増えています。トラブルの内容は、以下のようなことです。

- ・木の実を投げて、服にくっつけてきたことでけんかになった。
- ・列が乱れるので注意したら、おこってきた。
- ・列を乱れているので、班長が注意しても言うことを聞いてくれない。
- ・縁石の上は歩かない約束なので、注意しているのによりふざけて走っていってしまう。

班長や副班長を務める高学年には、月に1回程度、班長・副班長会を開いて役割を自覚させるようにしたり、悩みがあれば相談するように促したりしています。班長や副班長もよく努力してくれています。中・低学年には、わがままを言わずに、ルールを守って登下校するように話をしています。6年生の子どもの中から、「ぼくも1年生の頃は、歩くのが遅かったし、物を持ってもらったりしてずいぶん助けてもらった。今は、6年生になったので、今度は、ぼくが1年生の面倒を見るのが当然だと思っている。なかなか早く歩けないときもあるから、出発時刻にゆとりをもつように地区委員の方と相談しています。」という声も聞かれました。

地区委員の皆様にも1日・15日の登校指導にご協力いただいておりますが、地区の問題は、各地区の子ども会等でも話し合ってくださいようご協力をお願いします。